



企画展 「広がる大地—絵図でたどる児島湾のかんたく—」 関連行事

「かんたく」を深掘りする講座

参加無料
電話での
事前申込

大地がひろがる前のお話 —備前と備中の100年戦争—

講師 定兼学さん(山陽学園大学 特任教授)

3月8日(日) 14:00-15:30

場所 4階講義室

定員 先着70名、2月10日(火)から電話で受け付けます。

大地となる以前、児島湾地域の海は干潟が広がっていました。そこで人々は、多様な漁業を営んでおり、時には漁民間で漁業権をめぐる紛争が起きていました。この漁業紛争は、備前と備中(岡山市域では妹尾)の国境をめぐる争い、さらには開発の問題へと発展し、それは100年も続きました。

講座では争いに関わった様々な立場の人々のうごめきをみていきます。



〔児島内海干潟分間見取絵図〕 縦 40.5cm、横 56.5cm
岡山大学図書館「池田家文庫」 T8-13



常山城から、児島湖の西側を望む